



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取県国際交流財団

とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN / 鸟取国际通讯

No. 120
Dec. 2016



写真 「平成28年度子どものための異文化理解体験講座 鳥取市立末恒小学校」
「2016 Cultural Understanding Workshop for Children Suetsune Elementary School, Tottori City」
「平成28年度 児童異文化理解体験講座 鳥取市立末恒小学」

目次 Contents 目录

TPIEFだより

- ・中部 外国人と共に学ぶ防災セミナー
- ・西部 よなご国際交流フェスティバル2016
- ・平成28年度
子どものための異文化理解体験講座

特集

「鳥取県内高校の国際交流への
取り組み」 04・05

02・03 海外レポート

鳥取県・米国バーモント州
青少年交流事業

JICAデスクよりお知らせ

06 英語版・中国語版ダイジェスト 08-09

- Information in English and Chinese 英文版・中文版文摘
- 07 ・Central Tottori: Learn Alongside Foreign Nationals at the Disaster Prevention Seminar
- 07 ・Yonago International Exchange Festival 2016
- ・News from the JICA Desk
- ・中部 与外国人一同学习 防災講座
- ・よなご 国際交流欢乐节2016
- ・JICA服务站信息

図書情報等



外国人と共に学ぶ防災セミナー 中部

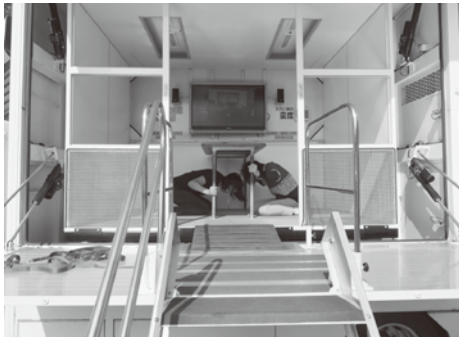
今年度倉吉事務所では、毎週水曜日に実施されている日本語クラスの授業の一環として防災セミナーを開催し、中部地区在住のベトナム、ドイツ、中国出身の学習者が参加しました！

日時 平成28年10月19日(水) **会場** 倉吉消防署

セミナーでは地震と119番通報について学習しました。

地震の時に家にいた場合・外にいた場合それぞれどのような行動をすればいいか、何に気をつけるかを学び、防災グッズや避難所について消防士から話しを伺いました。参加者は前の週にクラスで防災について

の予習をして臨んだおかげで、特に地震の話はよく理解出来ていました。実際に119番通報をしたり、起震車に乗ったりした後に、3日分の非常食がどれくらいかを目で見て確認後、試食して防災意識を高めました。



▲起震車体験の様子

防災学習の2日後に鳥取県中部地震がありました。参加者の方々に伺うと、防災学習で学んだことにより、以下の点が役に立ったと言われました。

◎ まず身の安全を守ること

◎ 揺れが治ったら
出口の確保をすること

◎ 冷静になること



開催 よなご国際交流フェスティバル

日時 9月25日(日) 午前11時～午後3時

会場 米子市文化ホール (米子市末広町293)

“いろんな世界”を知り、触れ合い、未来へとつながっていく…。多様な文化をもつ人々がお互いに尊重しながら暮らせる社会を目指し、米子市、実行委員会、財団が主催して開催しました。

展示・体験コーナーで、日本とアメリカのワシの違いに「へえ〜」。似ているけれど何かが違う…各国の特色あふれるアジアの料理に「へえ〜」。世界の歌やおどり、中国武術等の魅力にひきつけられ、日ごろ熱心に取り組んでいる方々のステージ発表に「へえ〜、一緒にやってみたいな!」…など、子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、来場者も参加者も、それぞれがたくさんの「へえ〜!」を発見し、新たな世界につながる何かをつかむことができました。

展示・体験部門▶



▼世界のレストラン：韓国、フィリピン、中国、台湾、タイ、インドネシア、フランスなど…
おいしい料理満載♪



▼ステージ部門

子どものための

平成28年度 異文化理解体験講座

外国出身の講師と触れ合いながら、楽しく学ぶ「子どものための異文化理解体験講座」

今年度も9月から12月にかけて県内の応募があった全ての小学校(26校)で実施しています!

講師は財団に勤務する中国、台湾、モンゴル、アメリカ出身の職員のほか、地域で暮らす外国出身者が務めています。写真を使いながら出身国の文化や生活について紹介し、その国の遊びや歌などを一緒に楽しみながら、異文化に興味や親しみを持つきっかけになるように努めています。

台湾



台湾のバンブーダンス!
上手くりズムに乗れたかな?

マレーシア



マレー語で
簡単な会話に挑戦!

メキシコ



メキシコのお金を
実際に触ってみました!



カナダ



ホッケー体験。
初めて持つスティックに苦戦しながらも、
ゴールが決まるたびに大騒ぎでした!



「シャガイ」で遊んでいます。
さて、「シャガイ」って何でしょう?

モンゴル

中国



中国について気になることを質問中。
講師も丁寧に答えます。

ブラジル



ブラジルから日本に来るとき、
飛行機で30時間かかりました(汗)



手作りのポイを使って、
マオリ族の踊りにチャレンジ!

ニュージーランド

ドイツ



ドイツには、パンが100種類以上も
あるんですよ!!

平成29年度も、各小学校の授業時間内にこの出前講座を実施する予定です。公募により決定した小学校と財団とで事前に打合せをして、日程や講座の内容等を調節します。また、講座にかかる費用は当財団が負担します。是非、授業の一環としてご活用ください! 募集は5月頃より開始する予定です。



応募
お待ちしております(^o^)

鳥取県内高校の国際交流への取り組み

今回の特集では、前号の『鳥取県各市の多文化共生の取り組みについて』に続き、鳥取県内の高校生に注目し、東中西部の高校から1校ずつ、学校でどのような国際交流の活動に取り組んでいるのかを取材してきました!

東部 鳥取県立青谷高等学校



中国



韓国

日中韓高校生国際交流事業を主に国際交流への理解を深めています。
 平成27年度までは、3カ国でテーマに沿って話し合う「国際シンポジウム」を開催していましたが、今年
 は20回という節目を迎え、中国・太倉市の明德高等学校から3名、韓国・慶尚南道の居昌中央高等学校から
 16名の生徒たちを迎え、一緒に新たな形で「日中韓国際交流」を2日間にわたって行いました。

1日目

○歓迎式(各代表挨拶等)

○アトラクション

日本:バンド演奏、ダンス披露

中国:毛沢東の「長沙」と「雪」という詩を朗読

韓国:3部構成でダンス披露

青谷高等学校の生徒は全員参加

○生徒交流会

生徒会執行部のメンバーが主として参加。各国の生徒が互いに自己紹介しながら名刺を交換し、その名刺を使ってビンゴゲームをするなどのアイスブレイキングを行った後、各校の代表が自分たちの学校についてのプレゼンをしました。

歓迎式の様子▶



2日目

○体育(1時間)

日中韓混合チームで男子はフットサル、女子はバレーボールをしました。

○芸術(2時間)

地元青谷町の「因州和紙」を使ってちぎり絵作りを体験。

ちぎり絵作り体験の様子▶



青谷高校生徒の▲ダンス披露

生徒たちは主に英語でジェスチャーを交えコミュニケーションを取っていたようですが、中国、韓国の生徒の中には数名、簡単な日本語を話す生徒もあり、楽しく交流できたとのこと。12月には青谷高校の生徒4名(希望者)が居昌中央高等学校を訪問し、現地の授業等を体験する予定です。また、1月下旬にはブラジル松柏学園と隔年で実施している交流会が予定されています。交流事業は来年も行われます。

西部 鳥取県立米子高等学校

米子高等学校では、韓国とアメリカの2校の高校と姉妹提携を結び国際交流をしています。



韓国

平成3年より学年全生徒対象の研修旅行を機に釜山工芸高校(その後、釜山デザイン高校から、現在、韓国造形芸術高校へ変更)との交流が始まりました。残念ながら平成23年で研修旅行は終了。その後、希望者を募り、相互の生徒のホームステイや授業参加を継続してきましたが、平成24年に米子高校の生徒を6名派遣したのを最後に交流が途絶えていました。そして今年、ALTのチャン先生の交渉もあり、交流を再開し、5名の生徒が派遣されました。

スケジュールの都合により、残念ながら今回の交流は半日で終わってしまいましたが、パートナーを組んだ生徒とはすっかり仲良くなれた様子でした。

翌日はソウル市内を散策。移動で使う地下鉄では、目的地の最寄駅を調べ、切符の購入、ご飯を食べた際のお会計などを生徒自身でしました。

担当の先生は、『今回は5名しか参加者がいなかったが、なかなか現地に行って異文化を体験する機会はないので、次回はもっと多くの生徒に参加してほしい。また、今回再開された交流を機に、事業自体も拡大していき、深く交流していきたい。』とされました。

ソウル駅から
KTX(韓国高速鉄道)に乗り
釜山にある
韓国造形芸術高等学校
まで来ました!



現地の生徒と一緒に陶芸の授業を体験しました!



アメリカ

平成5年よりアメリカ合衆国カンザス州のセント・トーマス・アクワイナス高校と生徒の派遣を行い、平成11年度には姉妹校提携を結んでいます。派遣期間は毎年3月下旬から4月上旬までの春休み期間(2週間)で、希望者を募り、その中から校内審査に受かった生徒たちが派遣されます。これまでに110名の生徒が派遣されました。

今年の3月は、5名の生徒が派遣されました。

引率の先生方とは学校到着後に別れ、平日は現地の生徒たちと一緒に通常の授業を受け、休日はホストファミリーと観光などをしました。

そして、帰国の際には、先生方は先に帰国されているので、生徒たちだけで出国手続きや、飛行機の乗換などをしました。

また、隔年で行っている受け入れですが、平成26年は諸事情により来日できなかったものの、今年は5月下旬から6月上旬にかけて、3名の生徒が来日しました。

授業体験の他にも、松江城・出雲大社周辺を散策、大山寺、杣水高原でハイキングを楽しみました。

この交流を通して、アメリカに派遣された生徒たちは帰国後、進んで生徒会活動に参加したり、英語のスピーチコンテストに挑戦するなど積極的に行動するようになりました。



2週間ずっとホームステイです!

書道の授業を体験!

中部 鳥取県立倉吉農業高等学校



ニュージーランド

毎年、ニュージーランド研修をしています。平成6年よりフォレスト・ビュー高校、トコロア高校との交流が始まりました。夏頃に派遣するこの研修は今年で20回目を迎えました。毎回希望者を募り審査し、その中から近年では2、3名の生徒が現地の高校に派遣されています。また、交流している現地の高校の生徒からも、希望者がいれば受け入れもしています。

平成28年度の派遣は下記の日程で行われました!

- 1日目: オークランド空港からトコロア市に到着! ホストファミリーと対面
- 2日目: ホストファミリーと過ごす
- 3日目
- 4日目 } フォレスト・ビュー高校にて授業に参加(1~5限)
- 5日目
- 6日目 } トコロア高校にて
- 7日目 } 授業に参加(1~5限)
- 8日目 } ホストファミリーと過ごす
- 9日目
- 10日目: フォレスト・ビュー高校にて授業に参加(1~5限)
- 11日目: フォレスト・ビュー高校にて授業に参加(1~4限)
- トコロア市長表敬訪問・トコロア市内散策
- 12日目: 校外研修(タウランガ、マウンガヌイ山、キウィフルーツ農園訪問)
- 13日目 } フォレスト・ビュー高校にて
- 14日目 } 授業に参加(1~5限)
- 15日目: トコロア⇒バスでオークランドに移動

トコロア市に滞在期間中はずっとホームステイです!

トコロア市長表敬訪問もしました。

現地の高校生に授業で折り紙を教えました!

休日はホストファミリーと楽しく過ごしました♪

この研修では、初日のホストファミリーと対面後、生徒たちは平日、学校で通常の授業と一緒に受け、土日はホストファミリーと観光等を楽しみ、最終日のトコロア市内のバス停に集合するまで引率の先生方とは会えません。

自分たちでコミュニケーションを取って何とかしなければいけない状況に苦勞することもあります。逆にそれが、生徒たちの英語を勉強する意欲へと繋がっているようです。また、ホーム

ステイでは食文化や生活習慣の違いを実際に体験し、異文化への理解も深まりました。

昨年度には、フォレスト・ビュー高校から1名の生徒の受け入れもして、ニュージーランドに派遣された生徒たちと同様に授業にも参加し、倉吉農業高等学校ならではの野菜の収穫授業も体験。放課後は柔道部や剣道部へ参加しました。

今回取材させていただいた学校以外にも、鳥取県内の私立・県立高校では様々な国際交流に取り組んでいます!